

こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

発行：2015年6月14日
連絡先：日本共産党伏見地区委員会
TEL(611)9135 fax(602)9117



くらしの目線で市政を変える

NO!!「戦争する国」生かそう!!平和憲法 桃山・醍醐の各地で宣伝、署名しました



安倍内閣がこの夏に戦争法案を強行に通そうとしています。自民・公明は戦後70の年間、憲法の条を守り平和を発信してきた日本が、180度方向転換して、戦争をする国にしようとしています。世論は80%以上の方が今国会で拙速に戦争法を強行することに反対しています。平和を守るために、立場の違いを超えて、今こそ多くの人と手をつなぐことが必要です。西野さち子市議は、地域の後援会の皆さんとともに、各地で訴えました。

山科川土手の「もも」前では、ランニングをしている人が署名したり、自転車で「ご苦労さん！」と声をかけてくれる人も多く、ビラの受け取りは非

常に良いのが特徴です。
また、醍醐学区や池田東学区では、辻つじで参加者が交代で訴え、ビラを配りましたが、ほとんどの通行人がビラを受け取ってくださいました。断らされたのは1人だけでした。車からの激励や、「ご苦労様」「がんばって」と声をかけていただき、マイクデビューをする人もあり、参加者全員が元気になりました。

安倍内閣がこの夏に戦争法案を強行に通そうとしています。自民・公明は戦後70の年間、憲法の条を守り平和を発信してきた日本が、180度方向転換して、戦争をする国にしようとしています。世論は80%以上の方が今国会で拙速に戦争法を強行することに反対しています。平和を守るために、立場の違いを超えて、今こそ多くの人と手をつなぐことが必要です。西野さち子市議は、地域の後援会の皆さんとともに、各地で訴えました。

常に良いのが特徴です。

第60回京都母親大会に 参加しました

全大会では、「あしたをきりひらこう！憲法をかかげて」と題して一橋大学名誉教授の渡辺治さんの講演が行われました。「戦争法案は安倍首相の思いつきではない。アメリカ、財界の執念。今まで戦争する国がつくれなかったのは、憲法9条とそれを支える運動の力。戦争で大変な目にあわされたアジアの国々に日本の企業が進出できたのは、憲法9条があり、軍国主義の日本から変わったのだという信用があったから」

「後方支援と兵站は同じ意味。戦争は、兵站があって初めてできるもの。」

「11本もの法律改正を2本にしたのはなぜか。1本の法律に最低でも4回の強行採決が必要。11本だと44回の強行採決を必要とする。アメリカとの約束があり、そんなことはしてられない」など、笑いも交えてわかりやすい講演でした。



6月1日に日本共産党市会議員団のくらし環境委員会のメンバーと伏見区選出の赤坂、山根、西野の3人の市会議員が視察をしました。目的は大岩街道周辺のまちづくりの中で、

市政報告

鎮守池視察

鎮守池の整備計画があるので、現状を視察することです。かつては水がいっぱいだった鎮守池ですが、今は、ほんの少しの水があるのみでした。そして、大型ごみなどの不法投棄があり、惨めな姿でした。まずはごみの撤去とフェンスなどの設置が必要です。また、流入している水は、稻荷山からの澄んだ水だったことに驚きました。岡田山の撤去とともに、環境を整備して、深草トレインの1部に組み込むなど、かつての自然豊かな地域にする必要があります。

